

## 授業の種類／シラバス／履修登録

ここでは大学での学びについて、学生のみなさんに配布している「法政大学学習支援ハンドブック2023」から引用して会員のみなさんにお伝えします。

### 時間割をつくる

#### ①授業の種類

大学での授業には、講義、実験・実習、ゼミ(演習・卒業研究)と大きく3種類あります。

##### 【講義】

講義科目では、教員の講義を聞いてノートを取ることが授業参加の第一歩ですが、講義のスタイルは教員によって違いますし、板書のスタイルも十人十色です。学生にとってはノートの取り方が学びの基本技術です。多くの授業では総まとめとして、期末に試験やレポートなどが課されます。

##### 【実験・実習】

実験・実習科目では、グループでのテーマに沿った実験と結果の分析、コンピュータや作品制作のワークショップ、社会調査のフィールドワークなどがあります。課題に挑戦して、講義だけでは知りえないことを探求します。

##### 【ゼミ(演習・卒業研究)】

ゼミ(演習・卒業研究)では、指導教員の助言を受けながら、長い時間をかけて問題意識を深め研究に取り組みます。一般にはゼミの成果がゼミ論文ですが、それが卒業研究、卒業論文(卒論)となる学部もあります。ゼミとは大学での学びの到達点ともいえるでしょう。

#### ②シラバス

それぞれの科目の内容を詳しく知るために、学生のみなさんはシラバスに必ず目を通します。シラバスには、その授業の目的、学習の到達目標、授業計画、成績評価の方針などが記載されています。

#### ③履修登録

最良の履修計画は一人ひとり異なります。自分にとって何が最良かをよく考えて、どの科目を履修するか決めます。教職員や先輩にアドバイスをもらうのも参考になるでしょう。学部学科によっては、多くの必修科目が指定されているところもあれば、あらかじめ受講するクラスが指定されている科目もあります。「履修の手引き」と「シラバス」をよく読んで、学部の必修科目や選択必修科目、履修制限などをきちんと理解

することが大切です。

### 法政ポータルサイト(Hoppii)について

大学には履修や成績、Webシラバスなど、学生が利用する様々なシステムやサイトがあります。

それら全てのリンク先をひとまとめにしたポータルサイトが「Hoppii(Hosei portal to pick up information)」です。授業や成績、大学からの情報を確認したい場合には、まず「Hoppii」にアクセスします。

トップページには各種システムやサイトのリンク先が掲載されており、キャンパスごとのお知らせ(災害等による全学一斉休講等の重要なお知らせも含む)も確認できます。

「Hoppii」からアクセスできる主なシステム及びサイトは以下のとおりです。

##### (1)情報システム

履修科目の登録や成績確認などができます。

##### (2)学習支援システム

授業教材、レポートや小テスト実施、授業に関する連絡を確認できます。

##### (3)Web掲示板

所属学部・研究科からのお知らせや大学からのお知らせが掲示されます。

##### (4)Webシラバス

各科目の授業内容(シラバス)をWeb上で公開しています。

##### (5)デジタルブックシステム「HONDANA」

大学・学部・研究科から発行される冊子をインターネットで閲覧できます。

##### (6)オンデマンドシステム

オンデマンドでの授業やガイダンス等の動画を視聴できます。

##### (7)学修成果可視化システム(Halo)

これまでの履修成績等の推移や在学中の活動履歴等を確認できます。

##### (8)授業改善アンケート

履修科目に関するアンケートに回答できます(毎学期末に実施)。

##### (9)法政大学専用メール

法政大学専用Gmailを利用できます。

##### (10)各種オンラインツール

ZoomやWebex等のオンライン授業ツールを利用できます。

## 試験と成績(成績評価・GPA)／単位／進級・卒業要件

### 試験と成績

- ①定期試験：春学期と秋学期の年2回(デザイン工学部は年4回)
- ②試験の種類：筆記試験、レポートなど
- ③追試験・再試験制度：学部によって制度の有無があります
- ④成績の発表：通常は春学期・秋学期の各学期が終了した後にWebで各自が確認します

### 成績評価

成績はS、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D、Eによって表されます。各科目の担当教員が定期試験・レポート・出席などに基づいて成績評価します。各評価の+は特に留意すべき加点・減点があることを示します。素点評価する場合、素点に応じて+付きの各評価に対応しますが、素点評価しない場合は、+の使用は各教員の裁量に任せられます。グレード・ポイント(GP)は成績評価を4~0に置き換えたものです。

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	可否
100~90点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	合格
89~87点	学習目標を満たし優秀な成績をあげた	A+	3.3	
86~83点		A	3.0	
82~80点		A-	2.7	
79~77点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76~73点		B	2.0	
72~70点		B-	1.7	
69~67点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66~63点		C	1.0	
62~60点		C-	0.7	
59~0点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

※2019年度より、本表のとおりとなっています。

※2018年度以前に取得した単位の評価・GPは変更しません。

### 成績通知

毎年、春学期(4~9月)、秋学期(9~3月)各期の成績を、保証人宛に送付します。春学期の成績は10月末頃、秋学期の成績は4月末頃に発送します。新入生の保証人のみなさんには、前年度の成績がありませんので、当年度の春学期分(10月末頃発送)からのお知らせとなります。

ご不明な点がありましたら、各学部事務まで直接お問い合わせください。

### GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度

成績をより客観的に見るために、学習状況を把握し成績向上に役立てるための指標です。算出方法は、表のとおり換算したGPに、その科目の単位数を掛け、履修単位数の合計で割ります。0となるD・Eも算入されるため、学生個人の全体の成績評価をつかむことができます。

### GPAは何のために？

学生自身が、自分の「学び」について振り返る上で、取得した単位の「量」のみでなく「質」も考慮することが容易になります。学生は学期ごとに算出されたGPAと、その時点までの通算GPAを見ることで、入学後の学年ごとや学期ごとの自分の「学び」のあり方について振り返ることが可能になります。

### 単位

大学では、それぞれの科目で合格または不合格となった場合、「単位が取れた」とか、「単位が取れなかった(または落とされた)」などと表現します。この単位とは、学修に要する時間を表す基準で、1単位は、①教室等で授業を行う時間及び②学生が授業時間外において準備学習・復習を行う時間の合計で標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。

1科目あたりの単位数は、それぞれ科目により異なりますが、外国語や実験・実習は半期1単位、講義や演習は半期2単位が一般的です。

### 進級・卒業要件

進級や卒業するためには、学部・学科が定めた進級・卒業要件を満たす必要があります。例えば法学部を卒業するには、基礎科目44単位以上、専門教育科目88単位以上で、合計132単位以上の修得が必要です(詳細は、各学部の「履修の手引き」を参照)。また、各年次の進級時にも一定の要件があり、学生は計画的に履修計画を立てる必要があります。これらの要件はとて厳密なもので、学部・学科ごと、あるいは入学年度やコースによっても異なる場合がありますので、注意が必要です。